最終決戦の千秋楽先ずは剣竜が好調の佐賀ノ海の右をかわし寄り切って2敗を守ったが、剛勇山は支那虎と対戦し立会いの差し手争いで体を起こされると一気に押し倒され3敗目を喫しついに優勝戦線から脱落。

剣　竜○（寄り切り）●佐賀海

魁　電○（引き落し）●春ノ翔

春ノ翔は魁電との一番に立会いから先手を奪い左を差して攻めるも、腰の重い魁電を攻めきれず引き落としに敗れ2敗に。

そして迎えた本場所最後の取り組み横綱同士の結びの一番。優勝がかかる大一番に横綱同士の熱戦を期待する大歓迎のなか、今場所最後の呼び出しに土俵に上がる両雄。さらに章之助の千秋楽の触れが続き慎重かつ熱のこもった仕切りのあと「よし来いっ！」と桐壺親方に「頑張れっ若乃嶋！」と錦風親方の檄が飛び立ち上がった。立会いから鋭く踏み込んで前に出た美空富士がそのまま一気に寄り切って優勝を決めた。僅か3秒の呆気ない幕切れだったがその秒殺こそが今場所の美空富士の強さを物語る結果となった。

優勝が決まった瞬間に各親方からの賛辞の言葉に拍手と共に、祝福の握手を求められる桐壺親方からは満面の笑みがこぼれる。惜しくも全勝と連勝記録は途絶えてしまったが8度目の賜杯を手に収め、次なる目標は紙相撲ファンなら知らない者はいない昭和の大横綱照の花に並ぶ9度目の優勝だろう。来場所も優勝を狙い今年の完全制覇となるのか？桐壺親方の期待も膨らむばかりだ。

熱戦に期待がかかった横綱同士の結びの一番に敗れた若乃嶋は今場所も取りこぼしが目立ち、勝ち越しが精一杯の結果に。場所が終わる度に言われる「来場所こそは！」の檄にそろそろ目覚めて貰いたいと切に願うのは筆者ばかりではないだろう！理事長からも期待を寄せる言葉と苦言を呈する檄の声も上がった。

平成最後の先場所を全勝優勝で締め、令和最初の今場所で賜杯を手にした美空富士。今場所も先場所に続いて好調を維持し紙界の第一人者としての責務は十分に果たし、理事長をはじめ協会陣からも絶賛の声が上がり更なる活躍に期待が高まる。春ノ翔に新大関魁電の両大関も大いに場所を盛り上げる結果になった貢献度は評価されるだろうが、ただひとり支那虎が勝ち越し止まりの関脇陣には課題が残る結果となった。

また共に先場所の大負けで下位に番付を落とした剛勇山に夢力は、さすがにこの位置では本来の自力を発揮して終盤まで優勝戦線を賑わせた。三役が狙える位置での取り組みとなるであろう来場所こそその真価が問われる大事な場所となる果たして上位の壁を越える事が出来るだろうか？

夢　力○（寄り切り）●英　筏

角武蔵●（押し倒し）○剛勇山

今場所新入幕の霧ヶ浜部屋の若巨に九十九部屋の寶蔵ともに見事勝ち越しを決め、来場所の土俵にも期待が集まる。そんな新鋭の華々しい活躍の陰では、十両からひと場所で幕内復帰を果たしたベテランの照の王が二度目の十両陥落が決まりその去就が注目される。

さらに大横綱の英を輩出し長らく紙界を牽引してきた鹿賀乃戸部屋からも鹿富士が十両陥落となり、幕内の力士が姿を消す事となった。

関脇陣に平幕の上位陣の不振で来場所はかなりの番付の変動が予想される。第一人者の美空富士の抜群の安定感は揺るぎないのか？他の三役陣の逆襲はあるのか？はたまた振興部屋に新鋭の躍進はいかに。来場所も手に汗握る激戦で大いに賑わう事だろう。

そんな熱戦に期待のかかる次開催日は少し間を置いた一か月半後のお彼岸の9月23日に予定された。全国の紙相撲ファンの皆さん乞うご期待！

（香具山）

十両は西磯野が無敵

新十両の春日根部屋の西磯野が11戦全勝と圧倒的な強さで優勝を飾った。十日目に桃乃洲を寄り切りに破って優勝が決まった。春日根親方が国技館に到着したのは優勝が決まった直後。「今、優勝が決まったところだよ！もう少し早ければ優勝の瞬間に立ち会えたのに！」と声を掛けられると、「そうですか。それは良かった！」と春日根親方は穏やかに喜びの表情を浮かべた。

西磯野○（寄り切り）●桃乃洲

千秋楽の一番も若柱を左差しから万全の相撲で勝って、白星を11個並べて優勝に花を添えた。北海道から駆けつけた若柱の親方の霧ヶ浜親方の声援も西磯野の強さの前には及ばなかった。11番の決まり手を見ると、9番が寄り切り、2番が寄り倒しと左を差して前に出る自分の相撲を取り切って勝ったということがわかる。一気に新入幕というのは難しそうだが、来場所も視覚良好で、誰が土をつけるかに注目が集まりそうだ。

若　柱●（寄り切り）○西磯野

霧ヶ浜部屋の若柱が西磯野に千秋楽で敗れたものの、若佑は勝ち越しを賭けた十日目に鹿幟戦に勝って勝ち越すと、千秋楽も勝って7勝を上げた。勝ち越しが決まっていなかった部屋の関取全員が勝ち越しを決めて、親方がわざわざ北海道から来た甲斐があったというものだ。

古今東西

紙相撲豆知識㊸ 美空20連勝

美空富士の連勝記録は十日目に魁電の上手投げに屈して歴代6位タイの20連勝でストップした。

しかしながら横浜国技館に移ってからの近代紙相撲においては英の19連勝を上回り、他の追随を許さない。ここで栄光の20連勝した対戦相手と決まり手を改めて紹介しよう。

第148回
○引き落し　出羽翼（勝間田）
○寄り切り　玄武岩（磯ノ海）
○寄り切り　水晶嶽（磯ノ海）
○寄り切り　阿古耶川（勝間田）
○寄り切り　超　刃（磯ノ海）
○押し出し　大神楽（磯ノ海）
○押し倒し　英　筏（　英　）
○寄り切り　佐賀海（錦　風）
○寄り切り　魁　電（麻　縄）
○寄り切り　白閃光（磯ノ海）
○寄り切り　若乃嶋（錦　風）

第149回
○寄り切り　佐賀海（錦　風）
○押し出し　英　筏（　英　）
○押し倒し　玄武岩（磯ノ海）
○寄り切り　大神楽（磯ノ海）
○寄り切り　月　山（勝間田）
○押し倒し　朱雀湖（磯ノ海）
○寄り切り　白閃光（磯ノ海）
○押し倒し　出羽翼（勝間田）
○寄り切り　超　刃（磯ノ海）

勝ち星のほとんどが寄りと押しで相手を圧倒しており、対戦相手も磯ノ海が中心となるだろ